

平成24年度 事業計画

運営理念

質の高いケア
人権擁護
利用者本位

施設理念：自立をめざし「共に働き」「共に語り合い」「共に生きる喜び」を醸し出すサービスを提供する。

ビジョン
 施設の設立目的：地域の中で自分らしく生活できる場を提供できる施設。

行動指針

- ・個を大切に支援しよう。
- ・いつも共にし、皆同じであり、皆一緒。
- ・できた時はほめ
- ・人の役に立っていることを伝えよう。
- ・常に共に成長し続けよう。

小規模多機能地域密着型事業所

就労継続支援B型事業所
 別邸作業所

就労支援事業の充実

工賃アップ

- ・事業プランに則り利用者さんと2月毎のチェックを実施
- ・弁当事業が継続して機動にのる
- ・下請け事業さんへの信用を念頭におく。
- ・今年度は就労支援事業より12,700,000円の収益を見込む。
- ・県運送便の落札
- ・チワタ文具・木村文機が起動にのる。
- ・佐賀空港早朝便対応の「おにぎり」のPR
- ・一緒に働くことの楽しさ、喜びを語れる。
- ・利用者さんとともに働くことの意識を伝えていく。
- ・なぜ工賃をあげなければならないかスタッフの共有をする。

自立を目指す就労支援

- ・施設外支援先の開拓(宅老所、高齢者施設、園芸所、保育園)
- ・生活支援、訓練の継続。
- ・ハローワークとの連携・ジョブコーチとの連携
- ・個別支援計画、支援会議、モニタリングの充実
- ・施設外支援者の増加
- ・就労者の増加

社会参加・地域住民との交流

- ・夏まつり・避難訓練合同訓練・もちつき大会
- ・奉仕活動への積極的な参加(独居老人への愛の一声運動)
- ・ゆめくれよんの継続参加
- ・手をつなぐ育成会事業(笑顔の会)支援
- ・まごころ授産所行事(親睦旅行・スポーツ大会・運動会・ボーリング大会他)
- ・地域住民とのふれあい(高齢者クラブ・婦人会)参加
- ・歳末助け合い募金活動協力

健康管理

- ・定期健診実施
- ・歯科健診
- ・衛生検査
- ・感染予防(インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒)
- ・バイタルチェック・毎日
- ・定期的な体重測定
- ・訓練中の体力増強としてウォーキング

サービスの質の向上

- ・実習生受け入れ(社会福祉学科大学生、中学生、高校生、看護学校)
- ・職員研修
- ・防災訓練
- ・作業支援・生活指導・支援
- ・ホームページの充実 **リニューアルの実現**
- ・利用者の安全の確保(傷害保険、支援)

個別支援の強化

- ・新利用者の個別支援(計画→立案→実践→評価→再査定→再立案)の徹底
- ・高齢者の個別支援((計画→立案→実践→評価→再査定→再立案)の徹底
- ・自閉症・広汎性発達障害者・児の研修勉強会
- ・統合失調症・精神障害者への支援の勉強会→支援につなげる。
- ・人権擁護委員会・人権倫理委員会の作り

創設準備

グループホーム創設

(仮)共生ホーム(宅老所)

- ・運営規程 就業規程
- ・重要事項説明書
- ・利用契約書
- ・福祉医療機構との連携
- ・グループホーム・ケアホームの勉強会
- ・世話人さんの選出
- ・地域住民さんへの説明会
- ・人権擁護委員会・人権倫理委員会組織作り

- ・物件の利用の検討
- ・県、市、町障害福祉課・情報収集